

認定NPO法人市民オンブズマンおかやま

オンブズマンアカデミー資料

岡山県議会(平成27年度～28年度)編

「旅は税金。－議員の海外視察－」

報告1 カンボジア・ベトナム(平成29年3月19日～3月25日)7日間

報告2 スイス(平成28年10月30日～11月5日)7日間

報告3 アルゼンチン・ブラジル(平成27年8月20日～8月26日)7日間

報告4 スイス・スペイン(平成28年3月28日～4月5日)9日間

報告5 アメリカ(平成28年11月1日～11月10日)10日間



2018年2月17日(土)

きらめきプラザ705会議室

地方議員視察旅行総論

担当：光成

1 議員の海外視察旅行の実情

- i たいていの都道府県（大き目の政令市も）では、議員は任期中に＜一定金額以内＞海外視察旅行ができる。一定金額（岡山県議会の場合 120 万円）以内なら、何回行ってもかまわないが、多くの議員は＜1回＞行っている。
- ii 視察旅行の法的根拠は、議長による＜旅行命令＞である。
＜1人1任期〇〇万円＞というのは、議会内の慣行であり法律的な根拠はないが、＜議長は、必要があると認めるときは旅行命令を出せる＞ので、それ以上の根拠は必要ない。
- iii この＜権利としての視察旅行＞を行わない議員・会派もある。岡山県議会の場合は、公明党・共産党の議員はほとんど利用しない。それ以外の議員はほぼ利用している。
- iv 視察旅行は7～8月に行われることが最も多く、大半が議員の任期の2年目か3年目に行われる。任期1年目は議会の新構成が決まった直後で会派人事・委員会配属等の関係で多忙、4年目は選挙準備のために多忙になるからと思われる。
- v 視察先は、圧倒的にヨーロッパ（特に西欧）、北米が多い。
- vi 単独視察もできるが、最近は大人数の視察が多い。（できるだけ1人は避けるようにとの「内部指導」が行われているらしい。）大人数の視察旅行には利点も多く、①現地での専用車代を分担できるし、②報告書を他人に書いてもらうのにも便利だ。
- vii 議員の海外視察旅行は、住民訴訟で「違法」とされて勝訴することが、非常にまれな分野だ。裁判が起きた例は多数あるが（特に仙台オンブズマンが熱心だが）、住民側が勝った例はほとんどない。特に「無駄だ」という理由で勝つことは難しい。裁判所が議員の海外視察に理解がありすぎるからだ。
- viii 視察旅行の実態は、視察によって差があるが、多くの場合は極端に観光に寄っている。典型的な例が、H28年度の香川県議会のヨーロッパ旅行や岡山県議会のアメリカ旅行だ。

2 旅行の内容はどうやって決まるか

旅行の企画は、実際には旅行代理店が作っている。

- i 代理店は「御用聞き」営業を行い、議員側の希望（①どの地域に行きたいか、②「視察対象」にしたいか）を集約する。
- ii 代理店は、集約の結果に基づいて旅行のプランを組み立てて、議員側に提

示する。通称「企画型視察旅行」と言ったりする。(代理店は、<どこそこの地域で何々を見たければコレ>的な情報を大量に持っている、それに基づいてプランを組み立てる。) 視察先との調整は全部代理店がする。

- iii 代理店と議員との擦り合わせによって視察日程が微調整され、見積書が提出される。議長はそれに基づいて旅行命令を出す。

3 視察旅行の「経済学」

- i 地方自治体職員・議員の公務旅行の費用は、条例と規則によって決まるが、たいていの自治体では「旅費法」という古い法律が準用されている。

この法律で出すことのできる費用は、①日当、②運賃、③宿泊料であり、通訳料や代理店の手間賃は支出できない。

うち宿泊料は宿泊地によって定額に決まっており、ホテル代の実費に関係しない。運賃は、⑦航空運賃・鉄道運賃は一等料金の定価、⑧車賃は支出された実費である。

自治体は、これによって計算された金額を旅行代理店に(法律上は議員個人に)直接支払い、旅行代理店はその費用で議員の旅行費用を、食費に至るまで全部まかなう。議員の負担は原則として(土産物代や小遣いを除き)ない。

- ii 旅行代理店は実際には、航空切符を事前に割引料金で入手していて、その利ザヤをかせげる。また、現地車代の範囲内で通訳やガイドの費用を賄うことが多い(現地専用車を雇う際の注文に「日本語をしゃべれるガイド付き」という条件をつける)。それによって代理店は十分に商売になる。(ホテルやレストランからのバックマージンもあるかもしれない。)
- iii ただし、自治体によっては、自治体が旅行代理店の手間賃を別払いしていることがある(香川県がそう)。この場合、表向きの視察費用の上限額以上に自治体が議員の旅費を負担していることになる。

4 視察旅行の「政治学」

- i <1任期あたり〇〇万円の範囲内でご自由に>というのは議会内の慣行だが、議会对首長の関係では<首長と議会との政治決着>に基づく慣行である。

首長にとっては、議員の海外視察旅費は、議会との政治決着に基づいて<議会に差し上げたお金>(この点、議員報酬や政務活動費と同じ)なので、その使い道には口は出さない。下手に口出しして議会との関係がぎくしゃくしてはたまらないからだ。

- ii 議員が他の議員の視察旅行についてクレームをつけることは、きわめて稀

である。そんなことをしたら、自分の視察にもクレームをつけられるかもしれないし、(制度を利用していない会派や議員も含め) そんな口出しをして余分な対立関係を作ることは政治的に好ましくないからだ。

5 視察旅行の「文学」

i 視察旅行の報告書は、かつては(岡山県では)視察団名義で1本出していた(個々の議員の感想も、その中に記載されていた)。それがなぜだかいつからか、参加議員全員が報告書を出すようになって、「コピペ報告書」が氾濫している。

しかも、①視察先概要をネット記事をコピーして作り、②一部の議員が書いた報告書を参加者全員がデッドコピーする、という二重のコピペが横行している。

ii 一定数以上の議員が公務海外旅行をする場合、議会事務局職員が随行することができる慣例になっている。かつての視察報告書には、随行職員が書いた(議員は個々の「感想部分」だけを付け加えていた)としか思えないものが非常に多かった。〈個々の議員のコピペ報告書〉の時代になった現代では、議員が書いたと思われるものが増えているが、文章の質は概して低下しているように思われる。

6 私見

i 海外視察旅行は、議員にとって、

ア 政治的には既得権であり、

イ 経費の面で非常に優遇されていて、

ウ 手間は全部旅行代理店任せにでき、

エ 実質100%観光旅行をしてもクレームをつける者はおらず、

オ たまに裁判を起こされても、ほとんど負けない。

まさしく天国のような制度だ。

ii そもそも、同じ先進地視察でも、海外視察の場合には、

ア けた外れに費用が高くつき、

イ しかも視察結果を自治体の施策に反映することが難しい。(法制度だけでなく、地方自治体の財政構造やシステムが、国によって非常に違っているから、〈良いものをそのまま取り込む〉ことができるとは限らないからだ。)

客観的には、〈高くつくけれど県政上の効果を見込みにくい〉、タックス・ペイヤーの立場からは非常に費用対効果の劣る〈事業〉だ。

それでいてなお現状のように、議員の海外視察旅行が流行するのは、①議

員に（少なくとも自分で使う分には）タックスペイヤーの感覚が乏しく、②旅行自体が議員にとっての＜楽しみ＞だからだ。

iii そうである以上、議員に向かって『観光旅行化させるな』というほうが、おそらく（政務活動費の適正化と同様に）無理な注文だ。（倫理的に秀でた議員にとっては無理でないかもしれないが、倫理的に秀でていることは議員の一般的な特徴ではない。）

iv これをなにがしかでも＜正常化＞する方法は、非常に難しい。政務活動費と違って、裁判を起こしてもなかなか勝てないからだ。（裁判所が心を入れ替えてくれれば別だが、それを期待するのは議員に心を入れ替えてもらうのと同様に無理がある。）

v ただし、「監視されていない」ことが、議員にとって気楽にする要素になっていることだけは間違いない。

そこで少なくとも、

ア 海外視察旅行の報告書は、その費用の明細とともに、議会 HP で公開すべきだ。（がんらい＜コストパフォーマンスの悪い＞事業である以上、その成果と経費は広く住民に明らかにするのが当然だ。）

イ さらに、海外視察旅行については、それが企画される段階から、概要や目的を議会 HP で公開すべきだ。（住民に『そんな阿呆な視察に税金を使うな』というクレームを、事前に言うことのできる機会を与えるべきだ。）

平成27年度・28年度岡山県議会議員海外視察概要

<平成27年度>

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
アルゼンチン(ブエノスアイレス)、ブラジル(サンパウロ)	アルゼンチンにおける在亜岡山県人会設立50周年及びブラジルへの岡山県民移住105周年の記念式典及び交流事業参加	平成27年8月20日～8月26日(7日間)	岡崎豊(自民)	1,195,552	写真、資料中心の簡単な報告書あり。個々の議員の報告書なし。 伊原木知事、小野県議会議長、職員5名の公式訪問団に同行。式典2回、夕食会2回、昼食会2回に出席。合間に市内観光等。視察の要素なし。 <航空賃> 910,000円(ビジネス フランクフルト経由) 宿泊は3泊のみ(ブエノスアイレス2泊、サンパウロ1泊) (宿泊費は4泊分を支出。到着当日朝9時チェックインのためか?)
			河本勉(自民)	1,196,571	
			山田総一郎(公明)	1,195,612	
			井元乾一郎(自民)	1,199,030	
			久徳大輔(自民)	1,197,742	
			蜂谷弘美(自民)	1,194,553	
			池本敏朗(自民)	1,196,130	
			中塚周一(自民)	1,196,916	
			上田勝義(自民)	1,199,087	
(参加議員合計)	10,771,193				

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
スイス、スペイン	スイスにおいて地域産業である時計産業の振興と地域の発展の関係性についての調査、スペインにおいて都市交通網の整備を通じて環境都市としての復活を遂げたビトリア市の調査、「スマートシティ」の先進事例であるバルセロナ市の調査等	平成28年3月28日～4月5日(9日間)	天野学(自民)	980,229	太田議員が全員分をまとめた(議会事務局談)という報告書あり。個々の議員の報告書なし。 主な行き先は観光地、サッカースタジアム(2カ所)、ワイナリー(2カ所)と美術館。 <航空賃> 小田議員 556,480円 天野・小野・内山・遠藤・大田議員 521,480円 山本議員(1期目) 123,480円
			小野泰弘(自民)	977,380	
			内山登(自民)	977,972	
			小田圭一(自民)	1,012,713	
			遠藤康洋(自民)	977,713	
			太田正孝(自民)	976,862	
			山本雅彦(自民)	473,233	
			(参加議員合計)	6,376,102	

<平成28年度>

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
スイス	スイス中山間地域事業視察	平成28年10月30日～11月5日(7日間)	市村仁(自民)	587,062	個々の議員の報告書あり。 <航空賃> 308,500円
			小林義明(自民)	611,041	
			(参加議員合計)	1,198,103	

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
アメリカ合衆国	アメリカ合衆国ボストン、ワシントン、ニューヨーク先進事例調査	平成28年11月1日～11月10日(10日間)	千田博通(自民)	1,149,571	個々の議員の大部の報告書あり。ただし、報告書の大半は共通した文章で、議員の感想文のようなものが視察先ごとに数行から1頁程度添えられている。 <航空賃> 福島議員以外 727,000円 福島議員(1期目) 86,000円
			小田春人(自民)	1,185,124	
			住吉良久(民・県)	1,183,163	
			伊藤文夫(自民)	1,152,864	
			蓮岡靖之(自民)	1,150,459	
			波多洋治(自民)	1,148,313	
			西岡聖貴(自民)	1,182,238	
			神宝謙一(自民)	1,182,756	
			加藤浩久(自民)	1,183,163	
			小倉弘行(自民)	1,181,313	
			江本公一(自民)	1,149,238	
			木口京子(無所属)	1,149,645	
			福島恭子(自民)	463,534	
(参加議員合計)	14,461,381				

視察先	視察目的	視察期間	参加議員	旅費(円)	備考
カンボジア、ベトナム	医療技術、農林水産物、人材からみるアジアとの友好関係、経済関係、技術や人材交流について調査	平成29年3月19日～3月25日(7日間) 小林議員のみ3月20日～	小林孝一郎(自民)	229,570	報告書あり。個々の議員の報告書なし。 プノンペンに2日、ハノイに2日滞在。それぞれ1日目は視察、2日目は主に観光。 <航空賃> 68,200円
			高橋徹(民・県)	253,602	
			中川雅子(民・県)	253,602	
			(参加議員合計)	736,774	

平成28年度カンボジア・ベトナム海外視察報告書（平成29年3月19日～3月25日）について
 文責：古賀

海外視察したのは、自民党小林孝一郎議員、民主県民クラブ中川雅子議員、高橋徹議員の3名である。

開示された資料は、①議員派遣申請書（具体的日程別紙添付）3通、②支出負担行為決議書兼支出命令書、③旅費請求書（内訳添付）、④旅行社社の精算書1通、報告書は1つのみである。

- <旅費>
- ・小林孝一郎 229,570円 (3/20発)
 - ・中川雅子 253,602円 (3/19前泊、日当3,000円)
 - ・高橋 徹 253,602円 (3/19前泊、日当3,000円)
- 計736,774円
- 内、移動はカンボジア・ベトナム共に専用車使用 5日間1人あたり23,600円 (計 70,800円)

日時	当初日程	実施した訪問・視察	備考
3月19日(日)		中川・高橋大阪前泊	
3月20日(月)		10:30関西国際空港-17:00プノンペン国際空港	
<カンボジア>			
3月21日(火)	午前 カンボジア 日本大使館訪問 ジェトロ訪問	①10:00～11:00 カンボジア 日本大使館訪問 (写真2枚) 相手方：堀之内秀久(特命全権大使、他2名) 添付資料：堀之内大使によるのアンコールワット修復事業についての文書	それぞれ1時間程度の訪問で、駆け足的視察の感は否めない。報告書は相手方の説明に基づき質疑応答、岡山との関係性の考察も見られるが、誤字が散見される。
	午後 カンボジア 農水省訪問	②11:00～12:40 カンボジア 観光省 (1枚) 添付資料：観光旅行統計年報、観光旅行発展のための戦略2012～2020、観光旅行法 (3種とも表紙のみ)	
		③13:00～13:45 JETROプノンペン事務所訪問(写真2枚) 添付資料：カンボジア投資概況	
		④14:00～15:00 カンボジア 農林水産省訪問 (写真2枚) 相手方：農林水産大臣他 添付資料：岡山産ブドウをASEAN市場へ(㈱サザンブリーズ ジャパン作成)	
		⑤16:00～17:00 サンライズジャパンホスピタル視察 相手方：福田俊彰(代表取締役社長)、中川美穂子(事務局長)、林祥史(病院長) (写真5枚)	
3月22日(水)	午前 カンボジア 観光省訪問	(午前:カンボジア観光省、午後:サンライズジャパンホスピタル視察の予定は前日に繰り上げ)	

	午後 サンライズジャパンホスピタル視察	午前日程不明 ①時間不明 イオンモールパンペン店 (絆ストリート) (写真5枚) ②14:00～15:00 プノンペン王宮並びにシルバー・パコダ (写真3枚) 説明ガイド：黒塗り ③時間不明 トゥースレイ刑務所博物館 (ユネスコ記憶遺産) 18:00プノンペン国際空港→21:15ハノイ国際空港	当初の日程を前日に繰り上げ、(観光省とサンライズジャパンホスピタル)、王宮とサンライズジャパンホスピタル)、王宮とシルバーパコダ、トゥースレイ刑務所博物館見学に変更しているが、午前の日程は不明である。3/21の報告書同様、誤字が散見される。
<ベトナム> 3月23日(木)	午前 在ベトナム日本国大使館訪問 JETRO表敬訪問 午後 タンロン工業地帯視察	①9:30～10:30 在ベトナム日本国大使館訪問 (写真3枚) 相手方：梅田邦夫(特命全権大使)他4名 添付資料：TRACIMEXCOの会社案内 中央会NEWS (中央会おかやま) 切り抜き ②時間不明 ジェトロ訪問 (写真4枚のみ) ③10:00～14:00 ハノイ観光局 (写真2枚) LONGBIEN イオンモール (写真3枚) 相手方：ハノイ観光局長 相談役 (ベトナムナカシマプロペラ) 名前黒塗り ③14:00～16:00 タンロン工業団地 (写真5枚)	ジェトロ訪問は写真のみ添付。報告書ではハノイ観光局10:00からとなってっており、この時間は大使館訪問時間と一部重複している。そして、添付されているハノイ観光局の写真のNo.が、後から視察予定のタンロン工業地帯の写真のNo.より後になっている。また、イオンモールの写真のNo.は3/24の文廟の写真のNo.の後になっている。 また、WebPageによれば、同日視察したタンロン工業団地では、第2団地が2006年に稼働しており、2017年には第3団地が稼働予定であるにもかかわらず、報告書では“これから第2団地の建設の可能性”とある。
3月24日(金)	午前 ハノイ観光局訪問 午後 LONGBIENイオンモール視察	①10:45～11:30 文廟(写真3枚) 解説ガイド：黒塗り(元JICAベトナム職員) ②時間不明 ハノイ伝統地区伝統家屋群視察 00:30ハノイ国際空港→6:40関西国際空港	当初の予定になかった文廟と伝統家屋群の訪問が入れられている。伝統家屋群の報告書の始めの部分に空白があったり、前述したように報告書の日時と添付写真の順番に食い違いが見られ視察の正確な日時がわからない。
3月25日(土)			

<総括>

すべての訪問先の報告書があり、(ハノイのジェトロは写真のみ) 相手方名刺、資料、訪問先写真等が添付され、視察の全容はよく把握できる。しかし、カンボジアでは公的視察を一日に詰め込み、もう一日はほぼ観光に当てるという日程に組み替えられている。報告書に空白部分があったり、誤字も散見され、また、報告書の視察日時と、添付された写真のNo.の順番に食い違いがあり、誰かが書いた原稿を議員が共有して推敲した形跡は見られない。

スイス中山間地域事業視察

担当：光成

時期 H28.10.30～11.5

参加議員 2名 ただし、①政務活動費から支出して参加した議員が他にあり、
②鳥取県議会議員数名と共同の視察。記念写真には8人。

支出額 55万1919円（1日早く帰国）～57万5898円

視察日程

10.30（チューリヒ泊？）

12：45 羽田空港発⇒ミュンヘン空港⇒チューリヒ空港

19：40 チューリヒ空港着⇒専用バスでホテルへ。

10.31（ベルン泊？）

10：00～12：00 有機農業研究所（FiBl、チューリヒ）ヒアリング
研究所活動紹介とスイスにおける有機農業

12：00～14：00 スイス生協フリック（チューリヒ近郊？）店視察・昼食
山間地地域支援製品等の販売現場見学

14：00～16：00 スミスヴァルト村（ベルン東30km）視察
有機無農薬による高品質のハーブ栽培
太陽熱温水器と水質バイオマスによる薬草乾燥設備

11.1（ベルン泊？チューリヒ泊？）

10：00～12：00 連邦農業庁（ベルン）にてヒアリング
助成制度を含むスイスの農業政策・エコロジー政策

13：00～16：00 メルヒナウ村（ベルン北東70km、チューリヒとの中間）
視察
農家によるチーズ工場、地域熱供給設備

11.2（シャフハウゼン泊？）

10：00～14：00 ピオ・エコホテル及びヴァルテンスブルク村（グラウビ
ュンデン州）及び近隣酪農家訪問

11.3（シャフハウゼン泊？）

10：00～12：00 タイインゲン村（シャフハウゼン州）畜産農家訪問
地域熱供給事業（収穫残渣・家畜糞尿によるバイオマス発電）

13：00～16：00 ブルーマー・レーマン社（チューリヒか？）訪問
製材所敷地内にバイオマス関連企業を集積

11.4（機内泊）

チューリヒ空港からフランクフルト空港経由で帰国。

報告書 小林義明議員視察報告書（旅行命令を受けて公費で行った）は 15P。
視察先での説明と写真が各 50%弱を占め、小林議員の質問・回答が若干記載されている（他の議員の質問や、議員の所見の記載はない）。＜共通部分＞がコピーで、各議員が若干の付加をしたものを、各議員の報告書として提出しているものと思われる。

市村議員の政務活動報告書は 4P（主として議員の所見）で、＜共通部分＞を欠いている（コピーではない）。おそらく＜視察報告書＞の＜共通部分＞は、政務活動費で参加した議員には使わせてくれないのだろう。

評価

1 報告書に記載されている限りでは、①視察対象は一応適切に見え（＜露骨な観光地視察＞は確認できない）、②視察日程は相当タイトなので観光のための時間的余裕もないように見える。

2 しかし、

i 報告書と精算議決に、以下の問題がある。

ア 報告書に添付されている日程表は、おそらく当初のもので、最終段階では変更されたらしく、日程表と報告書記載の視察日程とが一致していない。また報告書には移動・宿泊に関する記事が少ないため、実際の日程（移動、宿泊等）の詳細が判明しない。

イ 視察旅費の支出は、当初の支出負担決議はもとより、帰国後の精算議決も、当初版の日程表にしたがってなされているように見える。そのため、精算議決書によっても旅程の詳細が定かでない。

ii 視察地の一部の選定が異常である。

ア 視察の主な対象地は、スイス中部チューリヒ～ベルン間の地域にある。
しかし報告書によれば、①グラウビュンデン州と②シャフハウゼン州の視察が行われている。

イ グラウビュンデン州はスイスの東端、オーストリア・イタリアと隣接する位置にある州で、地形的にはアルプス（てっぺんを含む）そのもの、ベルン・チューリヒから遠く離れている。州内にはサンモリッツ、ダボスなどの著名な観光地がある。（視察地であるヴァルテンスブルクは小村のためか地図で位置を確認できなかった。）

ウ シャフハウゼン州はスイスの中央部北端、ライン川北岸にあってドイツ領に食い込んでいる小州、自然地理上はスイスというより南ドイツ（チューリヒからは近い）で、スイス国内では比較的＜山がちでない＞地域だ。州都シャフハウゼンは、かつて有島武郎が「静寂古雅の町」と評した美しい小都市で、＜ライン滝＞＜ムノート城＞などのスポットがあり、

観光地の性格がある（当初の「視察日程」では、3日午後は「シャフハウゼン市内視察」=観光にあてられていた）。

エ シャフハウゼン州・グラウビュンデン州両地（特にグラウビュンデン）の視察対象と同種のもので、チューリヒ・ベルン近郊にあるかどうかは定かでないが、全くないとはかなり考えにくい。

オ 「視察日程」に従うと、11月2日に往路はベルン又はチューリヒからグラウビュンデン州へ、復路はグラウビュンデン州からシャフハウゼンへ、各推定3時間かけて専用車（バス）移動することになり、かなりの強行軍になる。このような視察日程を組む理由は理解しにくい。（私なら勘弁してほしい。ぎっくり腰が出そうだ。）

カ 以上の理由で、実質的に「駆け足観光」（修学旅行のような観光なら可能だ）が行われている可能性がある。

iii 視察対象は、国家機関1、半官半民の研究機関1、その余の7か所は民間施設で、地方自治体の機関・施設は視察対象中ではない。また、公的支援の負担者・負担割合（国か地方自治体か）についての説明・質問が報告書中に見当たらない。この＜民間施設が多く、地方自治体施設が少ない＞＜公的財政支援（特にその負担・財源）についての説明・質問が少ない＞という特徴は、一般的に、他の多くの視察にも共通している。

地方議員が視察をするのであれば、＜地方自治体の施策とその負担者・率＞が最大の関心事になりそうなものなので、この特徴はいささか不思議である。議員諸氏は、こうした視察に物足りなさを感じないのだろうか？

岡山県議会議員 アルゼンチン・ブラジル「式典参加旅行」(H27.8/20～8/26)

アルゼンチン（ブエノスアイレス）の「岡山県人会設立 50 周年」、ブラジル（サンパウロ）の「岡山県民移住 105 周年」の記念式典参加のための旅行。伊原木県知事、小野県議会議長、職員 5 人の公式訪問団に 9 人の議員が同行した。

視察報告書(38 頁)は写真(54 枚)・式典次第等の資料(11 頁)中心で、これに簡単な説明文がつく。個々の議員の報告書はなく、視察報告書内に議員の文章もない。

両国での式典参加に加え、県人会相談役・駐アルゼンチン大使との夕食会（2 回）、アルゼンチン・ブラジルそれぞれの県人会との昼食会（2 回）と、3 泊 4 日（ブエノスアイレス 2 泊、サンパウロ 1 泊）の日程で「飲んで、食べて」を合計 6 回。合間に市内観光（日程表には「市内視察」）とその他の儀礼的な訪問等をしている。

「市内視察」の行き先は次の通り。いずれも観光で訪れる人ならまず外さない第 1 級観光スポット。日程（案）では 1 カ所 1 時間から 3 時間を予定しているが、「市内視察」に関する記述は視察報告書にはないので詳細は分からない。

(アルゼンチン)

- ・ 8 月 21 日 モンセラート：ブエノスアイレス市の中心部で市庁舎、大統領官邸、五月広場がある。
- ・ 8 月 21 日 レコレータ墓地：ブエノスアイレス最古の墓地で世界一美しい墓地と言われる。納骨堂には伝統的な装飾が施され世界的に有名な墓地。多くの有名人が眠っている。
- ・ 8 月 22 日 ミニート：カラフルな街並の観光スポット。アルゼンチンタンゴ発祥の地で、路上でタンゴを踊る大道芸人も見られる。

(ブラジル)

- ・ 8 月 24 日 サンパウロ中央卸売市場：南米最大級の規模を誇り、サンパウロの台所として知られる。観光客も多く、ブラジルの個性的なお土産を買うこともできる。

* 上記はウィキペディア他、インターネット上の旅行案内や旅行記から引用。

その他の訪問先は次の通り。（カッコ内の時間は視察報告書から）

- ・ 8 月 21 日 在アルゼンチン大使表敬訪問(45 分)
- ・ 8 月 22 日 県費留学生・海外技術研修員懇談会（アルゼンチンで式典前の 30 分。式典会場内）
- ・ 8 月 23 日 県費留学生・海外技術研修員懇談会（ブラジルで式典後の 1 時間。式典会場内）
- ・ 8 月 24 日 ブラジル開拓先没者慰霊碑参拝(30 分)、ブラジル日本移民史料館と東洋人街(1 時間)

(文責 久野千恵)

岡山県南米訪問日程 (案)

月日	場所	時間	スケジュール
1 8/20 (木)		9:00 9:35 10:55 14:05 18:50 22:05	出発式 (岡山空港内) 岡山空港発 羽田空港着 羽田空港発 フランクフルト着 (フライト11時間45分) フランクフルト発 機内泊
2 8/21 (金)	アルゼンチン	7:05 9:00 11:30 14:30 ~15:00 15:00 ~17:00 18:00 ~21:00	ブエノスアイレス着 (フライト14時間00分) ホテルチェックイン ホテル出発 (バスでモンセラート地区を視察した後、県人会と昼食) 在アルゼンチン日本国大使館 福嶋教輝 (ぶくしまのりてる) 大使を表敬訪問 市内視察 (レコレータ墓地等) 県人会相談役主催歓迎夕食会 (三村相談役別荘) ブエノスアイレス泊
3 8/22 (土)	アルゼンチン	11:30 ~12:00 12:00 ~15:00 15:30 ~18:00 19:00 ~21:00	県費留学生・海外技術研修員懇談会 在亜岡山県人会創立50周年記念式典 市内視察 (コミュニティ等) 駐アルゼンチン日本国大使公邸夕食会 ブエノスアイレス泊
4 8/23 (日)	ブラジル	8:00 11:05 13:45 16:00 16:30 ~18:30 18:30 ~19:30	ホテル出発 ブエノスアイレス発 サンパウロ着 (フライト2時間40分) ホテルチェックイン 岡山県人ブラジル移住105周年記念式典 県費留学生・海外技術研修員懇談会 サンパウロ泊

月日	場所	時間	スケジュール
5 8/24 (月)	ブラジル	9:00 9:30 ~10:00 11:00 ~11:30 12:00 ~13:00 13:30 ~14:30 18:10	ホテル出発 開拓先没者慰霊碑参拝 ブラジル日本移民史料館 (東洋人街を視察) ブラジル岡山県人会館 (県人会と昼食) 市内視察 (サンパウロ中央卸売市場等) 機内泊
6 8/25 (火)		10:45 13:30	フランクフルト着 (フライト11時間35分) フランクフルト発 機内泊
7 8/26 (水)		7:20 8:45 9:37 9:59 10:45	関西空港着 (フライト10時間50分) 関西空港発 新大阪駅着 新大阪駅発 岡山駅着

(平成27年8月3日に提出された「議員派遣申請書」に添付)

旅費精算書

海外受注型企画旅行用

岡山県議会 様



観光庁長官登録旅行業第1769号
株式会社 JTB 中国四国

岡山支店

岡山県岡山市表町1-7-36 〒700-0822
TEL 086-232-7278 (社) 日本旅行業協会正会員
支店長: 森本 浩司
総合旅行業務取扱管理者



: 柴田 克利

担当者: XXXXXXXXXX
提出日: 2015年9月18日

ご旅行名 平成27年度岡山県南米県人会訪問団

- ご旅行期間 2015年8月20 (木) から 2015年8月26日 (水) 7日間 9名
- ご旅行先 アルゼンチン・ブラジル 添乗員 1名同行致します (8/20~8/26 7日間)

項目	摘要	大人	人員 (台数・個数)	日数 (時間)	小計
①航空運賃等	関西空港駅~岡山駅 (グリーン席)	11,420	1		11,420
	【ビジネスクラス】	910,000	1		910,000
	燃油サーチャージ	30,100	1		30,100
	空港税	57,000	1		57,000
②宿泊代	8/20 ブエノスアイレス	27,000	1		27,000
	8/21 ブエノスアイレス	30,000	1		30,000
	8/22 ブエノスアイレス	30,000	1		30,000
	8/23 サンパウロ	35,000	1		35,000
③専用車代	8/21~8/24	70,000	1		70,000
④査証取得費用	ブラジル査証 代行手数料込	18,000	1		18,000
合計					1,218,520

平成28年度岡山県議会議員海外視察概要

視察先	スイス・スペイン							
視察期間	平成28年3月28日～4月5日間(9日間)							
参加議員	天野学 (自民)	小野泰弘 (自民)	内山登 (自民)	小田圭一 (自民)	遠藤康洋 (自民)	太田正孝 (自民)	山本雅彦 (自民)	合計
旅費	980,229円	977,380円	977,972円	1,012,713円	977,713円	976,862円	473,233円	6,376,102円
視察目的	<p>スイスにおいて地域産業である時計産業の振興と地域の発展の関係性についての調査。鉄鋼の町として栄えたビルバオ市が産業衰退の危機からグッゲンハイム美術館の誘致により「グッゲンハイム効果」の秘訣を学ぶ。J1を目指すファジアーノ岡山の飛躍のために世界のスタジアムを参考にするため2カ所を視察した。岡山のワインづくりの参考とするためワイナリー2カ所をたずねた。岡山市内電車の伸延計画をビルバオのトラムに学ぶ。</p>							
備考	<p>◇6人分の報告書は74枚ある。その中に写真48葉(1葉の大きさはキャビネ版)で太田正孝議員がとりまとめた。山本議員のものは前者から写真と2度目のワイナリー視察報告を除いた39枚にまとめるが、別行程の報告はない。</p> <p>以下に掲げる数字の出所は「外国旅行の旅費積算内訳」による。</p> <p>◆航空賃は旅費の約半分を占めているが、小田議員556,480円(ビジネス)、山本議員123,480円(エコノミー)を除く5人は1人当たり521,480円(ビジネス)となっている。</p> <p>◆現地交通費(専用車の車両代と運転手代、手配料を含む)は、山本議員以外の6人が滞在中使った1人当たりの合計は178,192円で、4月2日ビトリアからワイナリーまでの95,128円が突出している。山本議員分は69,704円である。</p> <p>◆日当は指定都市(ジュネーブ2、ビルバオ1)は8,300円×3日、甲地方(ビルバオ1、ビトリア1、バルセロナ2、機内1)1日7,000円×5日、丙地方(岡山県内)1日5,100円である。</p> <p>◆宿泊料は指定都市(ジュネーブ2)1日27,500円×2日、甲地方(ビルバオ2、ビトリア1、バルセロナ2)1日21,500円×5日が支給されている。</p> <p>◇以上の◆をそれぞれの議員別に集計したものが、上欄の旅費を構成している。</p>							

岡山県議のスイス・スペイン視察旅行に関して開示された文書名(日付順)

文書名	視察概要内容(3/4)	スイス・スペイン視察行程(第1行程)	JTB見積書(各2枚)(3/11)	議員の海外派遣について(3/18)	議員派遣申請書(各1枚)(3/18)	旅行命令(依頼)書(各1枚)(3/18)	旅費請求書(各2枚)(3/22)	支出命令書(各1枚)(3/22)	報告書(山本1人分)(5/6)	報告書(6人分)(5/9)	JTB精算書(各1枚)(5/13)	精算決議書(各1枚)(5/18)	戻入命令書(各1枚)(5/19)	旅費精算内訳(各4枚)(不明)	第3行程(山本1人)		
															枚数(218)	3	28
第1行程(当初の計画)																	
日付	交通手段	摘要															
摘要																	
3月28日	飛行機	岡山0935-羽田1,055 羽田1220-ミュンヘン1725 ミュンヘン1835-ジュネーブ1945 専用車にてホテルへ2040-2100 ジュネーブ泊															
3月29日		0900ホテル発 国際連合欧州本部(旧国際連盟本部) 国際連合難民高等弁務官事務所 ジュネーブ中心市街地 ジュネーブ泊															
3月30日	専用車 飛行機 飛行機	0630ホテル発 0700ジュネーブ空港着 ジュネーブ0915-デュッセルドルフ1025 デュッセルドルフ1205-ビルバオ1410 ワイナリー-1445 ビガツヤ橋トラム1700 ビルバオ泊															
3月31日	専用車 専用車	0900ホテル発 ビルバオ・メトロポリ30 地域組織訪問0930 グッデンハイム美術館1200-1300 徒歩1530-1600 サ ン・マメス スタジアム視察1600 ビルバオ泊															
4月1日	専用車 専用車 専用車 専用車	0915ホテル発ビトリア市庁舎1030市長 表敬 ビトリア市庁1100 自然公園(サ ブルア公園)1230 市内視察 ビトリ ア泊															
4月2日	専用車 専用車 徒歩	0700ホテル発 ワイナリー-ALBET I NOYA1315 ホテル1900-シヨッピンングセ ンター-1920 バルセロナ泊															
4月3日	専用車	0930ホテル発 モインジックの丘、サ グラダファミリア、コロンプスの塔1330 バルセロナ・オーブン・バンコ・サバデル 1400															
4月4日	専用車 専用車 飛行機	0815ホテル発 バルセロナ市庁0900- 0945カタルーニャ州政府庁舎1045 バ ルセロナ1545-ミュンヘン1745 羽田 1550															
4月5日	飛行機	羽田1755-岡山1910															
第2行程(実際に6人が行動した)																	
日付	交通手段	摘要															
摘要																	
		第1行程と同じ															
		0800ホテル出発 移動専用車 ヌーシヤテル高等職業訓練学校 視察1030-1200 移動専用車 国際時計博物館視察1400-1600 移動専用車 時計工房視察 移動専用車 ジュネーブ泊															
		第1行程と同じ															
		第1行程と同じ															
		第1行程と同じ															
		第2行程と同じ															
		0700ホテル出発 移動専用車 移動専用車 トラム視察 バルセ ロナ泊															
		第2行程と同じ															
		第1行程と同じ															
		第1行程と同じ															

『旅の恥は書き捨て』

岡山県会議員の海外視察旅行(スイス、スペイン)報告書について

「井戸堀」という言葉は今ではすっかり死語になった。広辞苑によると「政界に乗り出して私財を失い、井戸と堀しか残らないということ」とある。戦前にはこういう人もいたようだが、これでは金持ちしか議員になれないというおそれもある。過去を美化するつもりはないが、その志は見習うべきではないか。政治家の意識が変わった現在では、「私財蓄積」の目的で政界に乗り出したのではないかと疑われる人もかなりいる。小田春人議員などは政務調査費で自宅に「私設図書館」をつくっている。その上、4年に一度は海外視察旅行と称して120万円(2期以上)を限度に県費で観光旅行ができるのだ。

観光旅行ではないと反発するかもしれないが、報告書を読んでみると観光地巡り以外のなにものでもなく、県政に生かされたあとが見当たらない。2016年にスイス・スペイン視察旅行へ行った議員の、翌年に県議会でした一般質問を読んだ。しかし、残念というか当然というか、それが反映されたと思われる個所はなかった。スイス・スペイン旅行に参加したのは自民党県議7人だが、2017年に質問に立ったのはそのうち2人、あとの5人は一度も一般質問に立っていない。2人は県の観光政策について質問をしているが、海外視察旅行の経験とは無関係な、ありきたりで平凡なものだ。これでは税金の無駄使い以外のなにものでもない。このような惨状に危機感を抱く県民は少なく、それが無能県議のバッコを許している。

「NHK 岡山 NEWS WEB2017年(平成29年)7月1日土曜日」の報道に、次のような記事が載っていた。

「岡山県の6月定例県議会は30日最終日を迎え、総額およそ3,400万円の一般会計の補正予算など、18議案が可決や同意され、閉会しました。(略)一方、去年5月に市民団体がだした県議会議員の政務活動費の領収証などをホームページで公開するよう求める陳情については結論をださず、5回続けて継続審査となりました。(略)しかし、一般質問を行った議員は16人とこの10年間で最も少なくなりました。これに対して伊原木知事は、議会閉会後に行った記者会見で『『どういう答弁、説明が議会の活性化につながるのか、これからもしっかり考えていきたい』と述べました。」

知事は「議員の質問がお粗末すぎる」ことを遠回しに嘆いているともとれる。議員報酬を受取りながら、やるべきことはやらない、「政務活動費の領収証などのホームページ公開」は、12月議会でも継続審査となった。これで7

回連続の継続審査である。「やらずブツタクリ」を地でいくような県会議員はご退場ねがって、やる気のある人にやってもらいたいものだ。岡山県議会議員の2017年度の主な収入は、議員報酬10,146,000円、夏季賞与2,071,000円、冬季賞与1,880,000円である。その上、政務活動費（第2の給与と見られている）として4,200,000円もある。

2017年12月12日付けの毎日新聞では「クローズアップ2017」で“よみがえる「議員年金」”の見出しで、なり手不足で地方議員に厚生年金加入案が、今年の国会に提出されようとしている様子を報じている。この記事の中で「先進国で一律の年金制度を設けた国は皆無に近い」ともある。

スイス・スペイン視察旅行に参加した太田正孝議員は、「旅行の成果を県政に反映」することなく、6月定例議会の一般質問で「小規模自治体の議会では議員のなり手が少なくなり、議会本来の責務が果たしにくい状況が生まれつつあります。最近、報道もよく取上げるようになりました。県議会においても、そういう状況に近い将来来るかもしれません。そうならないための環境づくりも急がなければなりません。」と発言しているが、「環境づくり」とは報酬増加を意図するものか、それとも年金加入への布石か。

最近、報道でよくとりあげるのは、議員の政務活動費の不正使用や、海外視察旅行と称して観光旅行化していることへの批判であるが、それは無視して自分勝手な判断をくだしている。これこそ本末転倒で、このような倫理の欠如した議員を見て「議員になり手が少なくなった」のではないだろうか、と私は思う。「環境づくり」の一步として「政務活動費のホームページ公開」をやるという発想はないらしい。以上、視察旅行から帰った後の動きを、一部紹介した。

スイス・スペイン視察旅行には、2016年3月28日から4月5日までの間、小野泰弘議員を団長として天野学、内山登、小田圭一、遠藤康洋、太田正孝と一部（3月29と4月2日）に別行動をとったことになっている、山本雅彦の7議員が参加している。

次に掲げる視察行程表の第1は、「議員派遣申請書」と「スイス・スペイン視察内容概要（3/4）」3枚と共に、岡山県議会議長に提出されたものと推測した。第1行程表と視察内容概要と一緒に旅行前に提出されたとみるのは、視察先の名前の表記で同じ個所を間違っているからである。3月30日に視察するという「ピカツヤ橋」がそうである。これはビスカヤ（VIZCAYA）橋と表記するのが正しいようで、第2行程表と視察報告書では訂正されている。視察内容概要では3月31日「②ビルバオ・リオへ交渉中」とあり、それらのことが正式決定前に提出されたと私が推測する理由だ。第2行程表は視察旅

行から帰国後、視察報告書と共に提出されたとみる。

日程	第 2 行程表 (当初作成のもの)	第 2 行程表 (実際に 6 人が行動)
3/28	岡山→羽田→ミュンヘン→ジュネーブ泊	第 1 行程と同じ
3/29	ホテル発→国連欧州本部視察→国連高等 弁務官事務所視察→ジュネーブ市街地視 察→ジュネーブ泊	ヌーシャテル訓練学校視察→国際時計博物 館視察→時計工房視察→ジュネーブ泊
3/30	ジュネーブ空港→デュセルドルフ→ビル バオ→ワイナリー→ピカツヤ橋→トラム →ビルバオ泊	第 1 行程と同じだが、(ビスカヤ橋とある)
3/31	ビルバオ・メトロポリ 30 訪問→グッデ ンハイム美術館→サン・マメス スタジ アム→ビルバオ泊	第 1 行程と同じ (グッデンハイム Guggenheim とあるが、報告書ではグッ ゲンハイムと訂正している)
4/1	ビトリア市庁訪問→自然公園視察→市内 視察→ビトリア泊	第 1 行程と同じ
4/2	ワイナリー視察→バルセロナ泊	第 1 行程と同じ
4/3	モインジックの丘、サグラダファミリア、 コロンブスの塔→バルセロナ・オープン ・バンコ・サバデル視察→自由行動、バ ルセロナ泊	キャンプノースタジアム視察→リアル・クラ ブ・デ・テニス視察→バルセロナ泊
4/4	バルセロナ市庁視察→カタルーニャ州庁 視察→空港→ミュンヘン→羽田	第 1 行程と同じ
4/5	羽田→岡山空港	第 1 行程と同じ

第 2 行程表と山本行程表との違いは、3 月 29 日の時計工房視察が山本にはなく、4 月 2 日の「ワイナリー (アルベット・イ・ノヤ) 視察」が、山本では「トラム視察」となっていて、あとはすべて第 2 行程表と同一である。

それにしても「議員派遣申請書」が出されたのは平成 28 年 3 月 18 日で、その日のうちに議長裁決となり「旅行命令 (依頼) 書」が出されるのだから、迅速なものだ。もっとも議長は同旅行にも参加している小野泰弘議員であるから無理もない。

3 月 28 日羽田空港を 9 時 35 分出発して、ジュネーブ着が 19 時 45 分、その日はジュネーブのホテルに泊まる。翌 29 日ホテルからヌーシャルテル高等職業訓練学校視察、国際時計博物館視察、時計工房視察でその日は終わる。それにしても第 1 行程表の国連視察はどうなったのだろう。6 人は専用車で行き 1 人分 (これは必ずしも 1 人 1 台というわけではない) として 34,370 円を旅

費精算内訳に計上している。別行程の山本議員も、実は同じところへいつている。見積書には【往路】運賃（2等）¥6,400、手配手数料¥640、合計¥7,040。タクシー=ル・ロックル→ラ・ショー・ド・フォン、料金¥5,000。鉄道=ラ・ショー・ド・フォン→ジュネーブ【復路】運賃（2等）¥6,700、手配手数料¥670、合計¥7,370とあり、これは旅費精算内訳にも計上されているのだ。山本議員は、鉄道で同じ場所へ移動したことを、「別行程」としているが、ようは「アシ」が違うだけに過ぎない。

30日は飛行機でジュネーブ→デュッセルドルフ→ビルバオと移動している。最初に視察したのはワイナリーである。14時45分から17時までとある。報告書の冒頭で「LCCでビルバオに2時過ぎに到着して、直ぐにワイナリーを訪問」と待っていました、といわぬばかりの文章で、喜び勇んだ雰囲気伝わって来る。写真と報告文4枚。次のビスカヤ橋、トラムはほんのつけたし。ワインを飲んだほろ酔い機嫌で観光とは、さぞ気持ちがいいものだろう。

インターネットで検索すると「スペインのビルバオ旅行で絶対行きたい観光スポット7選」というのがある。紹介すると1.グッゲンハイム美術館、2.ビスカヤ橋（世界遺産）、3.ビルバオ旧市街地、4.ビルバオのサンティアゴ聖堂、5.エウスカルドナ宮殿、6.磯崎タワー、7.ビルバオ・ソンディカ空港とある。ビルバオ到着後の第1日にはビスカヤ橋を、2日目にはグッゲンハイム美術館を視察しているのだから、抜け目がない。観光旅行でも視察旅行とすれば税金で賄われるのだから、「タダメシ」「タダザケ」同様たまらないだろう。

31日はビルバオ・メトロポリ 30 地域組織視察→グッゲンハイム美術館視察→16時からサン・マメス・スタジアム（サッカー場）視察となっている。この日夕食の予定が第1行程表では20時。このスタジアムをホームとしているのは、地元スペイン1部リーグのアスレティック・ビルバオである。報告書にはサッカー観戦とは書いてないが、JTBの見積書（3月11日付）によれば合計¥74,200とあり、内訳は参加費¥61,600、手配手数料¥12,600、参加費一人当たりを計算すると¥8,800になるので、これが入場料にあたるのだろう。しかし開示された文書中の一枚「外国旅行の旅費積算内訳」にはこの金額がないので、旅行前には観戦を予定に入れていたが、何かの都合で行けなかったのかもしれない。

4月1日は9時15分ホテル出発→10時30分ビトリア市庁舎視察→市長表敬訪問→12時30分自然公園視察でこの日の視察は終わり、あとは市内視察である。ビトリアはビルバオから車で1時間ほどの距離だ。この街は歩行者優先の街づくりを進めていて、市域が271.81km²とあるが、それより広い「中心部の500km²が歩行者天国である」と報告書に書いている。それは市域の倍

近い面積であることに気づき、読んでいる私はア然とした。ちなみにバルセロナは 101.4 km²、岡山市は 789.92 km²、倉敷市は 354.72 km²の市域をもつ。岡山、倉敷両市の間くらいが全部歩行者天国になっていて、自動車が入れないとしたら「歩行者地獄」だ。こういう重大なミスが平気であるのだから、報告書をうのみにすることはできない。

2日は7時にホテルを専用車で出発して、次の視察先のワイナリーに向かう。到着予定が第1行程表では13時15分であるから、所要時間は6時間余もかかる勘定だ。スペイン北部の大西洋につながるビスケー湾沿岸から、一路南下して地中海まで、バルセロナへは車で1時間という場所にあるワイナリーだ。この日の視察はここだけで、バルセロナのホテルに19時に到着。バルセロナまでの移動を考えても5時間余も滞在したことになる。議員さんはよほどワイナリー視察がお好きとみえ、これでスペインに来て2カ所目である。

ビトリアから専用車で高速道路を走って移動したが、見積書によると1人当たり合計¥95,128（外国旅行の旅費積算内訳にも同額計上されているので実際に支払われた）になっている。内訳は運転手¥16,100、車両代¥70,380、手配料¥8,848。6人が専用車を使用、合計570,768円。これだけの費用を使って高速道路を走り「日本より1車線おおい」では救われぬ。一方山本議員はビトリアからバルセロナまで、鉄道で移動したことになっている。（本当はどうかかわからないが）運賃は片道¥6,000と手配料¥600の合計6,600円。

この日の報告書は6枚あり、中に写真6葉を使用。「視察目的」は自分たちに都合のいい理由を、どのようにも書けるので、事実上は観光でも視察旅行とすればいい。山本議員の報告書の表紙には、わざわざ（3/29と4/2別行程）と記してサインまでしている。彼の行程表によれば、7時にホテルを出発して6人とは別に「トラム視察」となっている。よほどトラムについては思い入れがあるようで、3月30日について2度目の視察である。この日1日をかけてトラムの視察をして、ワイナリーには行かなかったことにしている。これほどトラムにこだわりがあるのだから、それ相応の見識があるはずだ。

これらのことから湧いてくる疑問は、ワイナリーへ行かなかったとしている山本議員も同道していたのに、それを隠すために鉄道でバルセロナ入りしたことになっているのではないか、ということである。とすれば報告書にウソの記述をしていることになる。常識から考えても、古株6人は全員ワイナリーへ行きながら、新米1人だけおいてけぼりを食わせ、鉄道でとことこバルセロナへ向かわせる手はない筈だ。それとも全員鉄道で移動し、浮かせた費用をサッカー観戦にでもまわしたのかもしれない。

3日は9時半にホテルを出発して、FCバルセロナの本拠地キャンプノウ・ス

タジアムを視察している。JTBの見積書によると支出合計は¥145,600とあり内訳は参加費¥81,200、専用ガイド¥51,600、手配手数料¥12,800となっている。参加費を7人で割ると一人当たりの入場料は¥11,600になる。しかし「外国旅行の旅費積算内訳」には、この費用は計上されてない。報告書では、バルセロナクラブミュージアムには見学者が多く「試合のない日に、この人気にはびっくりするしかない」と述べている。

試合が行われた2日はワイナリー視察の日だ。視察を終えて一行がバルセロナのホテルに到着する時間は、行程表によると19時なので、19時30分の試合開始には間に合う。ファジアーノ岡山の飛躍をバルセロナ視察目的の②に上げているくらい熱心なのだから、伝統のこの一戦は見のがせないであろう。前述したように、バルビオとこのバルセロナでのサッカー観戦を、JTBに見積もらせているのだから、尚更そう思われても仕方がないだろう。

『デイリースポーツ』2016年4月4日付8面に次の記事がある。

「スペイン一部リーグで首位のバルセロナは2日、本拠地でレアル・マドリードと伝統の一戦「クラシコ」を行い、1-2と逆転負けし、昨年10月からの同国公式戦での無敗記録は39で止まった。」

同じ3日には、レアル・クラブ・デ・テニス視察となっている。大きなテニス場で、21面ものコートを持つ。バルセロナオープンが有名で、観戦ツアーの募集までしているが、報告書に記述がない。

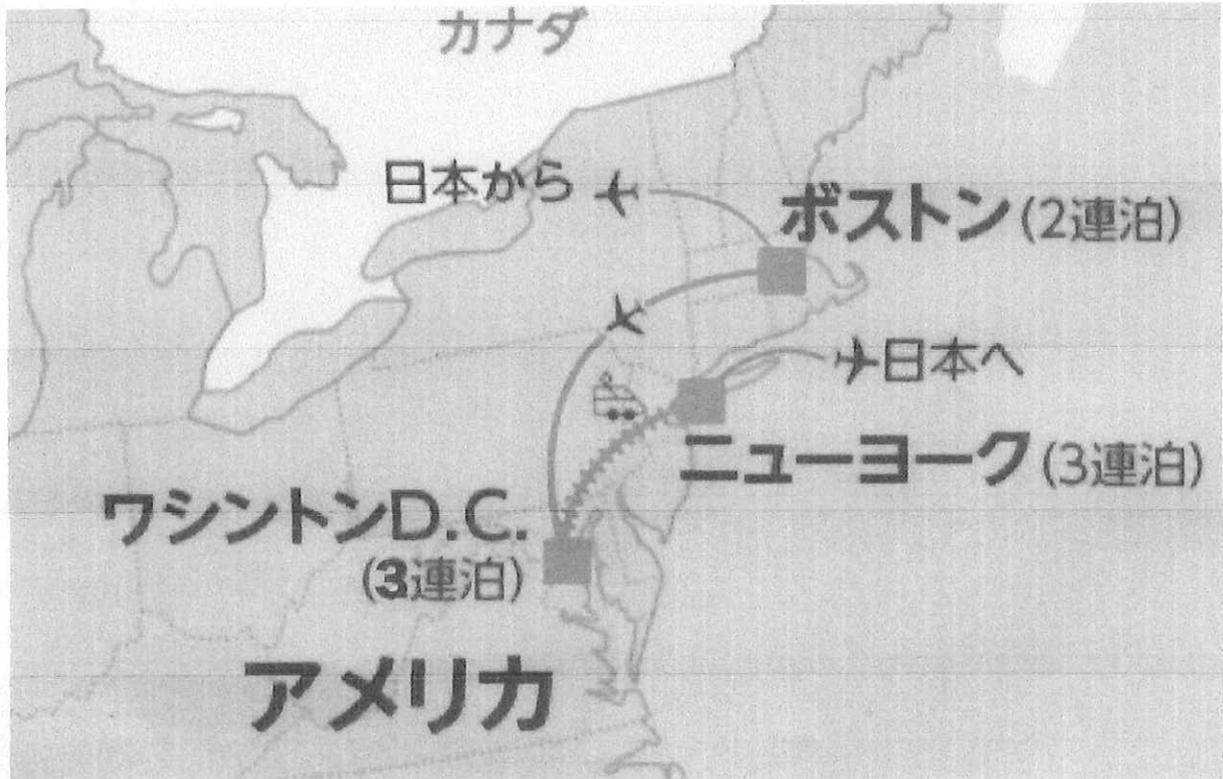
この視察旅行に要した費用は天野学¥980,229、小野泰弘¥977,380、内山登¥977,970、小田圭一¥1,012,713、遠藤康洋¥977,713、太田正孝¥976,862、山本雅彦¥473,233、合計¥6,376,102。

太田議員が6人分の視察目的、報告書を書いている。それはそれで大目にもみても問題は「所感」である。所感は7人それぞれ別ではないだろうか、特に山本議員には2度も行った ترامに関するウンチクを聞きたいものだ。金太郎アメのごとくどこを切っても同じような所感しか出て来ないとしたら、視察旅行には7人も必要としなくて、1人がいけば十分事足りるのではないだろうか。山本議員の報告書は、6人の報告書から写真と4月2日のワイナリー視察を除いたもので、コピーでないことを示すためか数カ所文末を変えている。前者の誤記まで同一にすることは無いと思うが、そこまで真似ているのはとんだご愛敬のオマケつきだ。

(能瀬 記)

「旅は税金。--議員の海外視察--」

図、行程図



訪問先	宿泊先	宿泊日程
ボストン	ハンプトン・イン・アンド・スィーツ・ボストン	2連泊 (11/1・2)
ワシントン	キャピタル・ヒルトン	3連泊 (11/3・4・5)
ニューヨーク	ミレニアム・ブロードウェー・ホテル・ニューヨーク	3連泊 (11/6・7・8)

「渡航目的」

「アメリカ合衆国ボストン、ワシントン、ニューヨークの先進事例を調査し、今後の本県行政に役立てる」

13人の「アメリカ旅行」・税金の無駄遣いの記録

表、21カ所の行先・その目的と必要性

NO	2016年	時刻	行先	目的	必要性
①	11月2日(水)	10時～	マサチューセッツ州、フリーダムトレイル	観光	×
②-1	(6人)	(1班) 14時	マサチューセッツ州、グロスター	親善	?
②-2	(7人)	(2班) 14時	マサチューセッツ州、ハーバード大学	観光	×
③	11月3日(木)	12時	ワシントンDC、議会図書館	観光	×
④		14時半～15時半	ワシントンDC、日本大使館	?	?
⑤		15時半	ワシントンDC、佐々江大使	挨拶	?
⑥		16時～17時	ワシントンDC、米国大統領選予想	なし	.
⑦	11月4日(金)	10時	メリーランド州、高齢者施設CCRC	なし	.
⑧		14時	メリーランド州、ニューアーバニズム	見学	?
⑨	11月5日(土)	9時	ワシントンDC、市内視察	観光	×
⑩		14時	ワシントンDC、フィリップコレクション	観光	×
⑪		16時	ワシントンDC、国立航空宇宙博物館	観光	×
??	11月6日(日)	?? 13時??	ニュージャージー州、フットボール観戦	遊び	..
⑫		17時～18時半	ニューヨーク州、グラウンドゼロ(WTC跡地)	なし	.
⑬	11月7日(月)	10時～11時	ニューヨーク州、ニューヨーク・JETRO	?	?
⑭		11時15分	ニューヨーク州、中国銀行NY事務所	挨拶	?
⑮		13時～	ニューヨーク州、ブライアントパーク	見学	?
⑯		15時～	ニューヨーク州、ハイライン	見学	?
⑰		16時半	ニューヨーク州、流通視察	不明	?
⑱	11月8日(火) (大統領選挙の日)	10時～	ニュージャージー州、日本人学校	なし	.
⑲		13時半	ニューヨーク州、ワイナリー	観光	.
⑳		17時	ニューヨーク州、裏千家	観光	.

11月9日(水)	13時15分発	それまで、何をした？
----------	---------	------------

後述するように、「渡航目的」が全くなく、視察の必要性・合理性が全くない以上、上記日程は単なる税金の無駄遣いである。仮に1%の効果があっても問題外である。

Google メットライフ・スタジアム

2016年11月6日
一体、先生方はこの日どこで何をしたのでしょうか？



地図データ ©2017 Google 1 km

- ① 馬天
- ② フットボール 13:00
- ③ WTC 17:00
- ④ Hotel

11月6日

参加議員

参加議員	旅費
千田博通(自民)、団長	1,145,571
小田春人(自民)	1,185,124
住吉良久(民・県)	1,183,165
伊藤文夫(自民)	1,152,864
蓮岡靖之(自民)	1,150,459
波多洋治(自民)	1,148,313
西岡聖貴(自民)	1,182,238
神宝謙一(自民)	1,182,756
加藤浩久(自民)	1,182,163
小倉弘行(自民)	1,181,313
江本公一(自民)	1,149,238
木口京子(無所属)	1,149,845
福島恭子(自民)	463,534
計	14,461,381

上記旅費は、予算ぎりぎりに合わせるために裏で細工されたものであり、実際とは違う。随行員も含めて、もっと膨らんでいる。100%税金の無駄遣いである。そもそも議員にビジネスクラスは必要ない。エコノミークラスにするだけで税金も不正の温床も激減する。皆さん、一人120万円、信じられますか？

はじめに

今回我々は、このアカデミーをより実効あるものにするため、別紙のように、旅行に参加した13人に対して公開質問状を送付し、旅行に対する確認とその回答を求め、参加を要請したが、彼らはこの絶好の機会を自ら閉ざした。残念としか言いようがない。

1、「渡航目的」は真っ赤な嘘——視察は全く無意味である

「アメリカ合衆国ボストン、ワシントン、ニューヨークの先進事例を調査し、今後の本県行政に役立てる」という「渡航目的」は真っ赤な嘘であり、実際は単な

る観光旅行である。アメリカには視察にふさわしい「先進事例」が次のようにいくらでもあるが、観光団はそんなものに見向きもしない。

今回の視察が失敗した最大の原因は誰一人「渡航目的」を持ってなかったことである。1年もかけて検討したというのは真っ赤な嘘で、業者の作った軽薄な日程に乗っただけと思われる。これとよく似た日程はネット上にいくらでもある。それに対して、議員は「ミュージカルが見たい」とか「フットボールを観戦したい」という勝手な注文を出しただけと思われる。

今回の日程がいかに空虚なものか、今から検証していく。

今世界は、産業革命以来と思われる技術革新に見舞われている。その震源地は言うまでもなくインターネットである。

インターネットを震源とする技術革新として

- ①ビッグデータ・②フィンテック・③AI・④自動車（自動運転・安全運転）・⑤カーシェアリング・⑥ユーバー（タクシーの配車システム）・⑦流通革命・⑧働き方改革、などなど。

インターネットと関係ない技術革新として

- ①自動車エンジン（水素自動車・電気自動車）・②脱炭素のエネルギー・③地球温暖化対策などなど

こういった分野で、今世界は目の色を変えて、生き残りをかけて開発にしのぎを削っている。これらの問題において、アメリカの巨大企業は多くの分野でベンチャーを巻き込んでその最先端を走っており、実用段階に入っている。日本は遅れをとっており、政治が邪魔をしている面もある。

「先進事例を調査し、今後の本県行政に役立てる」というのなら、せめて、カーシェアリング・ユーバー・流通革命などは、最低限、今回・視察団がぜひとも視察対象にすべきであった。数年以内に岡山のような地方都市でも、市民生活は大きく変わっているものと思われる。

トヨタや本田やメガバンクですら、これらの動きに戦々恐々としている時代に、修学旅行のような能天気さで税金をふんだんに使い、全く無意味なコースを設定し殿様旅行を謳歌する岡山県議の13人の無駄遣いには重大な責任がある。

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

2、 unnecessary コース

全21コースのほとんどが「観光」であり「視察」とはとうてい認められないが、特に妖しげな7つのコースについて、その異常さを指摘する。

その1、13人のヤジ馬が勝ち馬予想を聞きに行った「視察」

⑥の「米国大統領選挙」について

(1)、11月8日に行われた大統領選挙投票を、5日前の11月3日、日本大使館で選挙予想を聞いて、一体・何の意味があるのか？

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

(2)、最低の「コピー原本(報告書)」を書いた人とそれをコピーした全議員

この「コピー原本」は、長野参事官の録音を単に文章化しただけのものと思われるが、12カ所以上の誤字脱字がある上に・文章自体が非常に稚拙で、恥ずかしい。

その実物をこの会場に展示してあるので、自分の目でぜひとも岡山県議の現実と全員が丸コピーした「コピー原本」のレベルを確認していただきたい。

岡山県知事は今回のコピペについて、「似るのは当たり前」と言ったそうだが、知事にこの恥ずかしい文章を見せて感想を求めたい。(神宝・西岡両氏は編集しているが、誤字脱字は引きずっている)

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

その2、無知が生んだ的外れの「視察」

⑦の「高齢者施設」CCRCについて

今回「視察」したCCRC(Continuing Care Retirement Community)は投資(利益)目的の富裕層が入る高級施設で、アメリカの2000以上あるCCRCの内、わずか6つの特殊な例外です。(率にして0.3%)

入居するには、入居費用5千万円~1.1億円、年間費用500~900万円も必要です。

「そういった問題から新しい法律により、2016年以降は、このような仕組みの施設を作ることができなくなった」(視察した13人全員)と書いてあるが、それは視察前からわかっていたことである。

日本では36万人とも48万人とも言われる人が特養の順番待ちで困っている。それは倉敷の人口に匹敵する。そして重労働・低賃金であるため介護士が足りなくて、特養の空きベッドがたくさんあるという矛盾もある。そうなった原因は政治の貧困である。そのような目の前の解決を迫られている喫緊の日本の窮状をほったらかして、なぜアメリカの0.3%の金持ち用の特別な施設を視察するのか？視察する方向が違うだろ！

こんな金持ち用の施設を見学しても、「本県行政に役立てる」ことはありえない。

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

その3、白昼堂々と遊び、それを隠した「視察」

(番外編) 11月6日昼間に行った「フットボール観戦」

11月6日はほとんどフットボール観戦に費やしたようである。

フットボール観戦については、議員全員・視察報告書の目次(視察項目)から削除されており、表面化できない・隠れて行った観光だった。全員確信犯と思われるが、疑問を感じる良識派は1人もいなかったのか？往復交通費・入場料などは誰が払ったのか？

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

その4、フットボール観戦隠しのアリバイ作りのために、夜間行った「視察」

⑫の「グラウンドゼロメモリアルパーク(WTC跡地)」について

- (1)、2016年11月6日当日のニューヨークの日没は、午後4時45分であり(この日から冬時間)、議員は日没後現地に到着し、夜間行動したことになる(17時~18時半、本当?)。明るい昼間フットボール観戦で遊んだ13人が、アリバイ作りのために、日没後・夜間に「哀悼の意を表し献花をする」などというのは、犠牲者に対して失礼である。
- また、全員の報告書に乗せられている昼間の写真はニセモノ(他から転載したもの)である。実際は、-----

また、訪問の趣旨である「当時の被害の凄まじさや記録などを振り返り」と言うのなら、事件の悲劇をそのまま時系列に封じ込めた巨大な記念館「911メモリアルミュージアム」視察こそ絶対に外せないはずである。ところが現

実は、11月6日唯一の目的である「911メモリアルミュージアム」に入場しようとしたが最終入場時刻の午後6時に遅刻して間に合わず、すごすご帰った（蓮岡報告書）という。

そもそも、11月6日、1日一体何をしていたのか？

この項、（公開質問送付済み）、回答なし

その5、全く無意味な日本人学校の「視察」

⑩の「日本人学校」について

視察先は小中一貫校であり、9学年（1～9年生）でわずか50人程度（資料3ページでは45人、つまり1学年5人）の、上流階級の裕福な駐在員の子弟が通う優等生的な私立の日本人学校のようなものである。報告書にあるように父兄名は「日本を代表する大手企業や外務省関係者の方々ばかり」であり、2ページにわたる父兄名簿の7割は黒塗りである（エリート役人であろう）ここの1番の目的は日本の学校（いわゆる有名高校）への編入のようである。日本の喧騒とは別世界である。生徒50人に対して先生20人、それでも保護者の要望が高いため、先生が足りないと書かれている。ここを視察して、何になるのか？

日本では先生の過重労働や・いじめなどが問題になっている。さらには数十万人の保育所の待機児童問題など解決を迫られている数々の喫緊の深刻な政治的問題がある。そのような喫緊の日本の窮状をほったらかして、なぜアメリカの上流階級の日本人学校を能天気にも視察するのか？視察する方向が違うだろ！こんなエリート用の日本人学校をわざわざ視察しても、「本県行政に役立てる」ことはありえない。

参考、年間授業料比較（教材費など一切含まない）

比較対象	年間授業料のみ
視察した日本人学校	100万円以上
慶應・普通部	86万円
青山・初等部	75万円
学習院・初等科	72万円

その6、高くつきますね?-----ニューヨークで飲むワインと抹茶

⑱のワイナリー

⑳の裏千家

11月8日は全く不要な1日で、1日早く繰り上げて、帰国すべきである。

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

その7、相手に迷惑をかけるとの配慮はありませんでしたか?

④の日本大使館

⑬のJETRO

上記コースは、新聞・テレビ・ネットなどで簡単に入手できるレベルの情報です。この程度の話で、忙しいはずの大使館員やJETROの仕事に割り込むことについて、メールで質問すれば簡単に情報を入手できるものではありませんか?

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

3、その他のコース

★ ⑰の「流通視察」について

このコースこそ、全21コースの内、唯一しっかり視察して欲しかったコースである。現実には誰一人問題意識を持たず、ほぼ日没時刻の午後4時半以降、ホールフーズを中心に、トレーダージョーズとイーターリーを駆け足で素通りしたように見える。

この視察当時ホールフーズは赤字で、視察の後アマゾンに買収された。

今流通は大変な激動期にある。その中心にはアマゾンの存在がある。

アマゾンは従来のネット販売でシェアを伸ばしているだけでなく、考えられなかった方法を次々開発し成功させている。

★返品自由なネットでの衣料品販売・・・★留守宅でも自由に配送できるシステム・・・★1時間以内の生鮮品配達・・・そして★完全無人コンビニ (Amazon Go) など

今アメリカでは、アマゾンを中心とするネット勢力に既存のスーパー・小売りがどんどん飲み込まれ、最近では世界一の巨大スーパー・ウォルマートとの生き残り競争に入っているように見える。

日本もすでにその気配が見えており、今後淘汰の時代に入る。消費者がどこから何を買うのかは自由だが、既存の流通当事者、つまり地域経済には非常に悪い影響がある。県議にこの認識がないことは許せない。

- ★ 今回の旅行について、参加した議員のフェイスブックのコメント欄に、同じ会派の県議が「皆さましっかり楽しまれて来てください！！」と書き込んでいたように、この旅行の目的が「視察」などではなく「観光」であったことが透けて見える。

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

- ★ 今回の旅行費用は予算枠とピッタリ一致して、明らかに限度一杯使おうと細工をした跡が随所にハッキリ見えます。あなたは自分の旅費請求書などに署名・押印していますが、その内容・数字に責任を持てますか？

4、「コピー原本」について----- (各議員の報告書の9割以上はコピー)

- ① 「コピー原本」を作り、丸コピーさせようという発想の異常さ---「コピー原本」は100ページを越えるもので、千田博通団長が書かせたようである。(「視察報告書の作成に当たり共通部門の作成に複数の先生方のご指導を戴きました」) 一体、誰がどの部分を書いたか明らかにする責任がある。
- ② ほとんどの文章が、Wikipedia などネットの引用である (別紙参照)。
- ③ 「複数の先生方」が書いたと思われる「⑥の米国大統領選挙」「⑫のグラウンドゼロ (WTC 跡地)」などは、多数の誤字脱字を含み、読むに耐えない低レベルの日本語である。一体誰が書いたのか？
- ④ 各議員が丸コピーした異常さ---ほとんど全員が「コピー原本」をデッドコピー (丸コピー) した。なぜ、自分で書かなかったのか？
- ⑤ 波多議員のように、285ページもコピーして、自分では1行も書かなかった議員もいる。これで、視察したことになるのか？

この項、(公開質問送付済み)、回答なし

5、結論

以上の検証ではっきりしたことは、今回の視察には、その必要性・合理性が全くなく、100%税金の無駄遣い、ということである。

海外視察を行うかどうかは、その必要性・合理性のみで判断すべきである。今回の旅行は、そのようなものは全くなかった。

ただ、議員特権（120万円/期）があり、それを既得権益として13人が使っただけである。旅行の行先や中身など、どうでも良かったのである。単にタイミングをとらえて行っただけである。だから、費用対効果は0（ゼロ）であり、その結果が無残な報告書になっただけである。税金の無駄遣いについて、議員の良心が痛むことは全くなかったようである。

では、今後どうするのか？議員の良識に期待できない以上、県民の判断しかない。今後とも議員の無駄遣いを許すのか？それともこのおかしい状況を改善するのか？（つまり新しいルールを作る）

今、貧困・格差など必要な税金が社会に行き渡らない不公平な社会の中で、その配分に責任と義務を負うはずの議員が自ら率先して税金を無駄遣いすることは絶対に許されない。

おわりに

私が考える今回の旅行の総括

全くの税金の無駄遣いである。視察は全く必要なかった。

わざわざ視察しなくても、下記のような、メールでの問い合わせやインターネット検索でそのレベルの低い目的を十分達成できた。

最後に、こうすれば無駄遣いは止められる

NO	2016年	時刻	行先	新方法
①	11月2日(水)	10時～	マサチューセッツ州、フリーダムトレイル	NET
②-1	(5人)	(1班)14時	マサチューセッツ州、グロスター	メール
②-2	(4人)	(2班)14時	マサチューセッツ州、ハーバード大学	NET
③	11月3日(木)	12時	ワシントンDC、議会図書館	NET
④		14時半～15時半	ワシントンDC、日本大使館	メール
⑤		15時半～16時半	ワシントンDC、佐々江大使	中止
⑥		16時～17時	ワシントンDC、米国大統領選予想	中止
⑦	11月4日(金)	10時	メリーランド州、高齢者施設CCRC	中止
⑧		14時	メリーランド州、ニューアーバニズム	NET
⑨	11月5日(土)	9時	ワシントンDC、市内視察	NET
⑩		14時	ワシントンDC、フィリップコレクション	NET
⑪		16時	ワシントンDC、国立航空宇宙博物館	NET
??	11月6日(日)	??13時??	ニュージャージー州、フットボール観戦	中止
⑫		17時～18時半	ニューヨーク州、グラウンドゼロ(WTC跡地)	中止
⑬	11月7日(月)	10時～11時	ニューヨーク州、ニューヨーク・JETRO	メール
⑭		11時15分	ニューヨーク州、中国銀行NY事務所	中止
⑮		13時～	ニューヨーク州、ブライアントパーク	NET
⑯		15時～	ニューヨーク州、ハイライン	NET
⑰		16時半	ニューヨーク州、流通視察	NET
⑱	11月8日(火)	10時～	ニュージャージー州、日本人学校	中止
⑲	(大統領選挙の日)	13時半	ニューヨーク州、ワイナリー	中止
⑳		17時	ニューヨーク州、裏千家	中止

新方法

★ NET-----わざわざアメリカまで行かなくてもいい、ネットで検索する。

★ メール-----この程度のつまらない用事はメール質問で十分

★ 中止-----最初から、行かないほうが良い行先

つまり、目的・必要性のない旅行は、しない・させない・考えさせない

コストパフォーマンスを考えると、これがベスト

議員の、下手な考え、休むに似たり

平成 30 年 2 月 6 日

岡山県議会議員
様

岡山市北区奥田 1-11-20
特定非営利活動法人
市民オンブズマンおかやま
代表幹事 光成 卓明

海外視察に関するアンケートのお願いについて

時下、ご清祥のことと存じます。

私たちは、情報公開などを通じて地方自治体の財務、施策のチェックを行っている NPO 法人です。日ごろ、私たちの活動にご理解をいただいておりますことを、まずお礼申し上げます。

さて、私たちは例年、NPO 法人の総会にあわせて、参加自由の勉強会〈オンブズマンアカデミー〉を開催しておりますが、本年の〈アカデミー〉においては、〈地方議員の海外視察旅行〉をテーマとして取り上げることといたしました。岡山・香川両県議会の平成 28 年度の海外視察旅行を題材として、視察報告書などに基づいて報告を行い、参加者が自由に討論する予定です。

その報告・討論の資料とするため、平成 28 年度に行われた岡山県議会のアメリカ合衆国視察旅行について、視察に参加された議員各位を対象にアンケート調査を行わせていただくことといたしました。

県政のためご尽瘁ご多忙中のところ、無遠慮なお願いを申し上げて恐縮ですが、アンケートにご協力くださり、別紙の質問にご回答くださいますよう、お願い申し上げます。いただきましたご回答は、〈アカデミー〉で資料として使用させていただく予定です。

なお、〈アカデミー〉は 2 月 17 日（土）14:00～16:00 時、きらめきプラザ 7 階 705 会議室にて行う予定ですので、もしご都合がおつきでしたら、ぜひ参加され議論に加わってくださいますよう、お願い申し上げます。

海外視察支出の適正性の確保のため、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

「米国視察団報告書」についての質問

1 渡航目的について

旅行の目的は、「アメリカ合衆国ボストン、ワシントン、ニューヨークの先進事例を調査し、今後の本県行政に役立てる」とされています。

ア 出発前、具体的にどのような「先進事例」の調査を予定しておられましたか。

イ 上記の「先進事例」を、どのように岡山県の行政に役立てるお考えでしたか。

2 報告書中の〈共通部分〉について

報告書では、〈共通部分〉のデッドコピーが大きな割合を占めており、「共通部門の作成に複数の先生方のご指導を戴きました」とされています。

この〈共通部分〉は Wikipedia などネットの引用が大きな割合を占め、誤字脱字の相当部分がそのまま報告書に残っています。

ア ご自身で報告書を作成されず〈共通部分〉のデッドコピーを利用されたのはなぜでしょうか。

イ 「複数の先生方」とは、具体的にはどなたでしょうか。

3 大統領選挙予測について

視察団は、大統領選挙の選挙予想を日本大使館でお聞きになっています。報告書中のこの部分には誤字脱字が特に多く含まれています。

ア 投票5日前に選挙予想をお聞きになったことには、どのような意義がありましたか。

イ 報告書作成にあたって、この部分の〈共通部分〉をお読みになりましたか。

4 高齢者施設CCRCについて

今回視察された「メイプルウッド・パーク・プレイス」CCRCは投資（利益）目的の富裕層が入る高級施設で、報告書によれば、アメリカの2000以上あるCCRCのうち6件のみの施設であり、2016年以降は類似の仕組みの施設は作ることができなくなったとのことです。

ア この施設を視察対象とされた理由は何だったのでしょうか。

イ 渡航に先立ち、2016年以降規制がなされていることをご存知でしたか。

5 11月6日昼間の日程について

ア あなたは、11月6日昼間、フットボール試合を観戦されましたか。

イ 観戦された場合、そのことが報告書に記載されていない理由は何でしょうか。

ウ 観戦されなかった場合、当日の昼間には何をなさいましたか。また、当日昼間の日程

について報告書に記載されていない理由は何でしょうか。

6 グラウンドゼロメモリアルパークの視察について

報告書によれば、視察団は11月6日午後5時～6時30分、グラウンドゼロメモリアルパークを視察されています。一方、2016年11月6日のニューヨーク市の日没は、午後4時45分でした。

視察を日中でなく日没後に行われた理由は何だったのでしょうか。

7 ワイナリーの視察について

ア ワイナリーの視察は、どのような意図で企画されたのでしょうか。

イ 視察された結果、どのような意義がありましたか。

8 裏千家との懇談について

ア 裏千家との懇談は、どのような意図で企画されたのでしょうか。

イ 懇談された結果、どのような意義がありましたか。

9 日本大使館及びJETROの訪問について

日本大使館及びJETROの訪問について報告書に記載されている内容は、新聞・テレビ・ネットなどで入手できるもののように思われます。

あなたは渡航前に、日本大使館及びJETROで入手を予期していた情報について、新聞・テレビ・ネットなどによる情報入手をなさいましたか。

また、話の内容が渡航目的とずれているようですが、その理由は何ですか。

10 フェイスブックのコメント欄への同僚議員の書き込みについて

今回の視察について、参加されたある議員のフェイスブックのコメント欄に、同じ会派の議員が「皆さましっかり楽しまれて来てください！！」と書き込んでおられました。

この書き込みについての、あなたのご意見をお聞かせください。

本質問書に対するご回答は、市民オンブズマンのアカデミー（公開の勉強会）で使わせていただこうと考えております。皆様からのご回答（できれば2月17日当日のご出席も）お待ちしております。